

Digital Photo Printer

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

UP-D75

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。
19ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落したり、キャビネットを破損したときは

- ❶ 電源を切ります。
- ❷ 電源コードや接続ケーブルを抜きます。
- ❸ お買い上げ店までご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を
接続せよ

目次

警告	4
注意	5

はじめに

本機の特長	7
主な使用例	7
各部の名称と働き	7
前面	7
裏面	8

準備

付属品を確認する	9
組み立てる	9
コンピューターと接続する	10
パソコンにプリンタードライバーをインストール する	10
接続する	10

操作

プリントする前に	12
インクリボンカセットを取り付ける	12
プリント紙を入れる	13
プリントする	15
プリント枚数を設定する	16
プリント画を調整する	17
グレーバランスを調整する	18

その他

本機の性能を保持するために	19
使用上のご注意	19
お手入れ	19
使えるインクリボンとプリント紙	21
主な仕様	22
保証書とアフターサービス	23
故障とお考えになる前に	23
エラーメッセージ一覧	23
つまった紙を取り除く	24
索引	26



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



指示

表示された電源電圧で使用する

使用する製品の表示と異なる電圧で使うと、
火災や感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因
となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの
間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりし
ない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしな
い。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを
持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ
店またはソニーのサービス窓口へ交換をご
依頼ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所 には設置しない

上記のような場所や取扱説明書に記されて
いる使用条件以外の環境に設置すると、火
災や感電の原因となることがあります。



水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因
となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となる
ことがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電
源を切り、電源コードや接続コードを抜い
て、お買い上げ店またはソニーのサービス
窓口にご相談ください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビ
ネットや裏蓋を開けたり改造したりすると、
火災や感電の原因となることがあります。
内部の調整や設定、点検、修理はお買い上
げ店またはソニーのサービス窓口へ交換を
ご依頼ください。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与える
ことがあります



ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、
感電の原因となることがあります。



接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、
電源を切ってください。感電や故障の原因
となることがあります。



付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、感電や故
障の原因となることがあります。



製品の上に乗らない、重いものに乗 せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けが
の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災
や故障の原因となることがあります。風通
しをよくするために次の項目をお守りくだ
さい。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）
の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置す
ると、倒れたり落ちたりしてけがの原因と
なることがあります。また、設置・取り付
け場所の強度を充分にお確かめください。



開梱・運搬時には慎重に

本機は重量があるので、本体を取り出す際
や運搬時に腰を痛めるおそれがあります。



高温

プリント直後サーマルヘッドに触れ ない

プリント直後は、サーマルヘッドが熱く
なっている場合があります、触れるとやけどの
原因となることがあります。



指示

お手入れの際は、電源を切る

電源を接続したままお手入れをすると、感
電の原因となることがあります。



アース線を
接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因と
なることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントがコンセントが3 極の場
合

付属の電源コードを使用することで安全
アースが接続されます。

- ・ 電源コンセントが2 極の場合

付属の3 極→2 極変換プラグを使用し、
変換プラグから出ている緑色のアース線
を建物に備えられているアース端子に接
続してください。

安全アースを取り付けることができない場
合は、ソニーのサービス担当者または営業
担当者にご相談ください。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っか
けると本機の落下や転倒などによりけがの
原因となることがあります。充分注意して
接続・配置してください。



指示

電源コードのプラグ及びコネクター は突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、
火災や感電の原因となります。



注意

クリーニングチップを口に入れない

クリーニングチップを口に入れると飲み込
んで窒息や胃などへの障害の原因となるこ
とがあります。万一飲み込んだ場合はただ
ちに医師に相談してください。また、お子
様の手の届かない所に保管してください。



注意

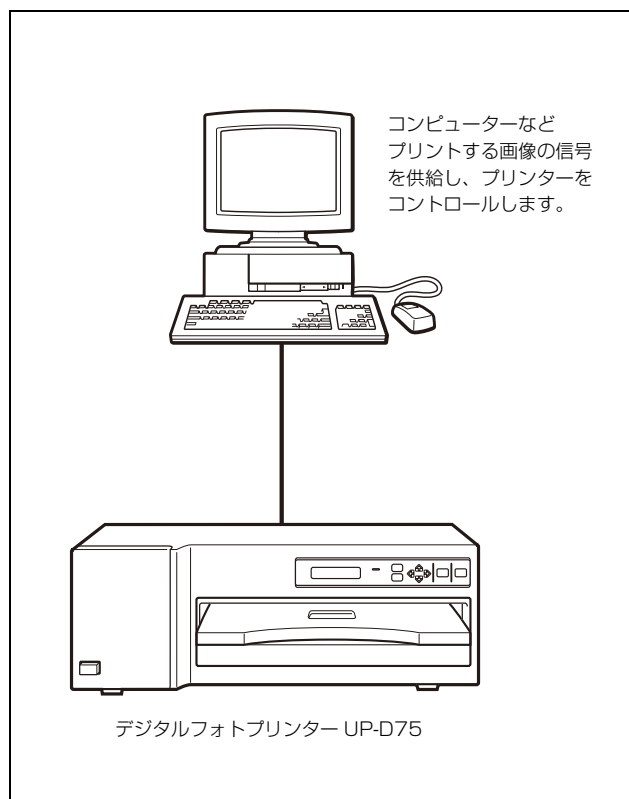
サーマルヘッドを固定する時はインクリボンカセットの装着口に手や指を入れない

サーマルヘッドに手を挟まれて、けがの原因となることがあります。

本機の特長

デジタルフォトプリンター UP-D75 は、コンピューターから送られてくるデジタルスチルカメラなどの画像データを A4 版のプリント紙に、高速フルカラー（各色 256 階調処理、1670 万色）でプリントするための、高画質、高解像度（300dpi）の昇華熱転写型デジタルフォトプリンターです。

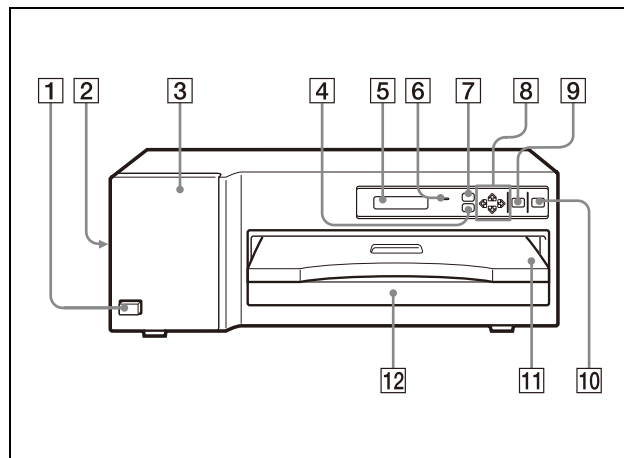
主な使用例



各部の名称と働き

() 内の数字は、参照ページを示します。

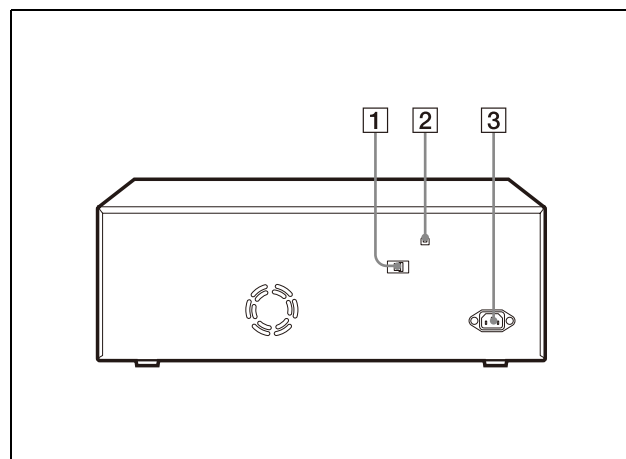
前面



- 1 ① POWER (電源) スイッチ**
プリンターの電源を ON/OFF します。
- 2 ファンカバー (9、19)**
ほこりよけのカバーです。
- 3 リボンドア (12)**
- 4 PRINT QTY (プリント枚数設定) ボタン (16)**
プリント枚数を設定するときに押します。液晶ディスプレイにプリント枚数設定メニューが表示されます。メニュー画面から標準画面に戻るときにも押します。
- 5 液晶ディスプレイ (15、16、17)**
通常は、本機の状態を示すメッセージを表示します。メニュー操作時はプリント枚数設定メニュー、プリント画調整メニュー、グレーバランス調整メニューの設定を、エラー発生時はエラーメッセージを表示します。
- 6 ALARM (アラーム) ランプ (23)**
インクリボンカセットやプリント紙がなくなったときや紙づまりなどの異常が起きたとき、オレンジ色に点灯します。
- 7 MENU (メニュー) ボタン (17)**
プリント画の画質を調整するとき押します。押すと各メニューが液晶ディスプレイに表示されます。メニュー画面から標準画面に戻るときにも押します。

- 8** **カーソル移動ボタン (16、17、18)**
設定値や設定レベルを増減したり、メニューの項目を選ぶときに押します。
- 9** **CAL (CALIBRATION) ボタン (18)**
グレーバランスを調整するときに使用します。
- 10** **PRINT ボタン (15、16)**
プリントするときに押します。
- 11** **排紙トレイ (9)**
プリント画が排出されます。
- 12** **給紙トレイ (9)**
プリント紙を入れるときに、PUSH と書いてある場所を押して給紙トレイを取り出します。

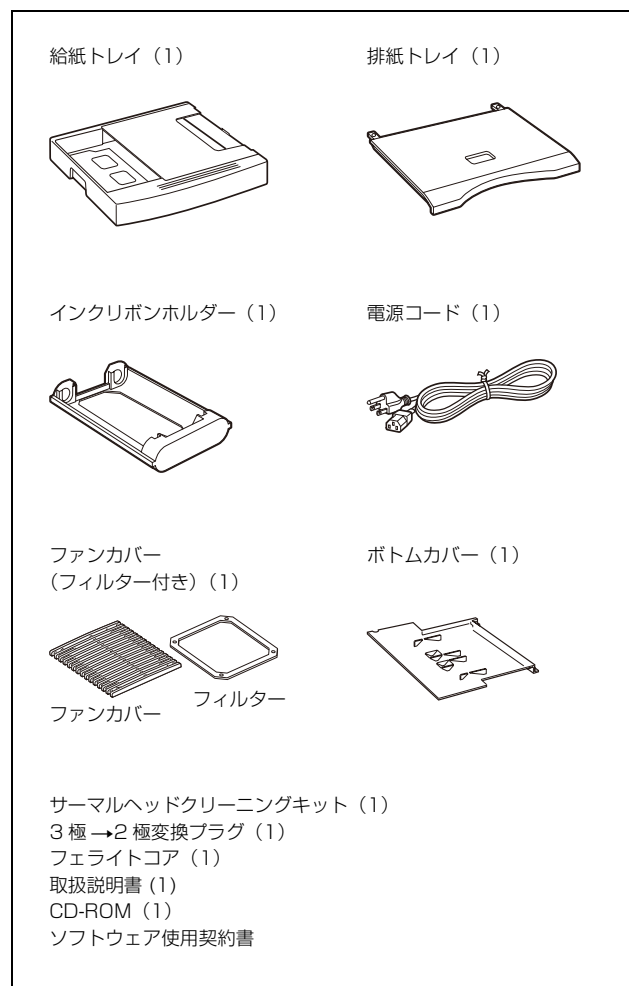
裏面



- 1** **ケーブルクランプ (11)**
接続したケーブルが抜けないように固定します。
- 2** **USB 端子**
USB インターフェース (USB2.0 準拠) をもつパソコンと接続して使用することができます。接続には USB ケーブル (別売り) をお使いください。
- 3** **～AC IN (電源入力) 端子 (10)**
電源コード (付属) をつなぎます。

付属品を確認する

付属品を確認してください。



ご注意

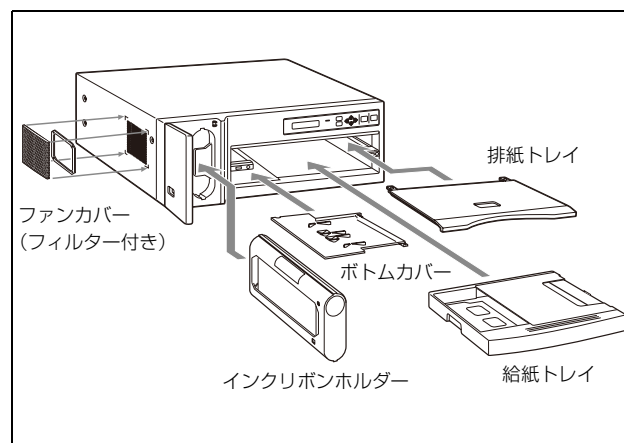
梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをおすすめします。

組み立てる

付属の給紙トレイ、排紙トレイ、インクリボンホルダー、ボトムカバー、ファンカバーを本体に取り付けます。

ご注意

プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドが固定されていますのでインクリボンホルダーが装着できません。電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンホルダーを装着してください (12 ページ)。



コンピューターと接続する

USB ケーブル（別売り）でプリンターとパソコンを接続し、電源コードも接続します。接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

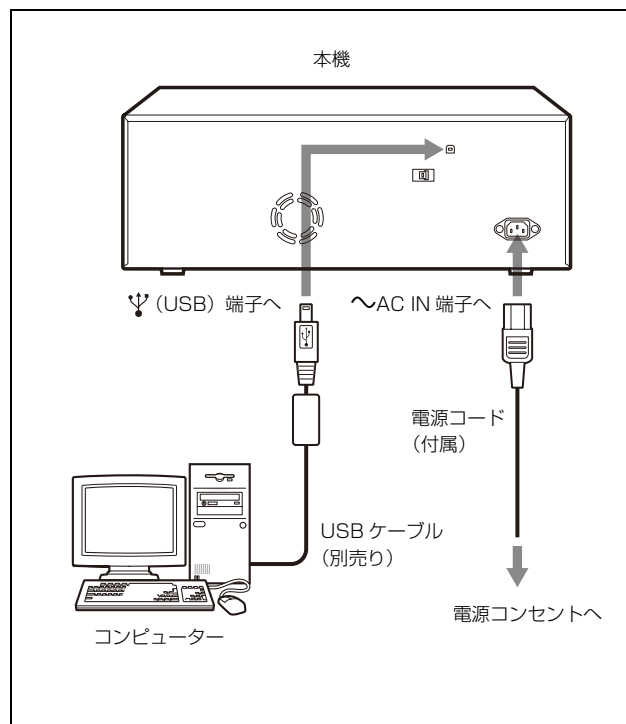
パソコンにプリンタードライバーをインストールする

パソコンに接続する前に、付属のプリンタードライバーをインストールします。インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に格納されているインストールマニュアル、および「ReadMe (Japanese)」をお読みください。

接続する

ご注意

- ・ パソコンの説明書も併せてご覧ください。
- ・ ケーブルのコネクターは最後までしっかり差し込んでください。
- ・ 付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応しておりません。
- ・ ハブを使用した USB 接続をする場合は、動作を保証いたしません。
- ・ USB ケーブルを接続する前に、本体側のケーブルの端に付属のノイズ防止用フェライトコアを取り付けてください。



電源について

電源コンセントが2芯の場合は、付属の3極 → 2極変換プラグをご使用ください。

3極 → 2極変換プラグをご使用になる場合のご注意

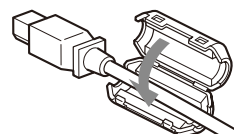
アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

USB ケーブルにフェライトコアを取り付けるには

USB ケーブルを接続する前に、付属のノイズ防止用フェライトコアを取り付けてください。

VCCI 規格に適合させるために、付属のフェライトコアを USB ケーブルに図のように取り付けて使用してください。

- 1 ストッパー（2 か所）はずし、フェライトコアを開ける。
- 2 USB ケーブルの本機側に接続される側の根元にフェライトコアを取り付ける。
- 3 ストッパーがかかるまで、フェライトコアを閉める。



で注意

USB ケーブルが細く、フェライトコアをきちんと固定できない場合は、テープなどで固定してください。

USB ケーブルを固定するには

誤ってケーブルを引っ張っても抜けないように、USB ケーブル接続後、ケーブルクランプに通して固定することをお勧めいたします。

プリントする前に

ここでは、プリンターの準備が済んで、実際のプリントを始める前の準備として、プリントに必要な次の操作について説明します。

- ・ インクリボンカセットを取り付ける（下記）
- ・ プリント紙を入れる（13 ページ）

これらの操作は、日常のプリント操作前に毎回する準備ではありません。必要に応じて行ってください。

ご注意

- ・ インクリボンカセットを交換したりプリント紙を取り付ける場合は、電源を切らないでください。電源を切ると記憶した画像が消えてしまいます。
- ・ インクリボンカセットを交換したりプリント紙を取り付けた場合は、グレーバランスの調整を行ってください（「グレーバランスを調整する」（18 ページ））。
- ・ インクリボンカセットに使用するインクリボンとプリント紙はセットになっています。取り付ける前に、インクリボンとプリント紙の組み合わせが正しいかどうか確認してください（「使えるインクリボンとプリント紙」（21 ページ））。
- ・ **必ず本機専用のインクリボンとプリント紙をお使いください。**（「使えるインクリボンとプリント紙」（21 ページ））専用以外のインクリボンとプリント紙をお使いになると誤動作や故障の原因となります。

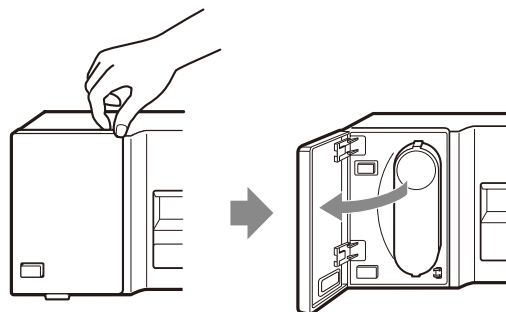
インクリボンカセットを取り付ける

付属のインクリボンホルダーに別売りのインクリボンを装着し、インクリボンカセット（インクリボンホルダーにインクリボンを装着したものを指します）をインクリボンカセット収納部に取り付けます。

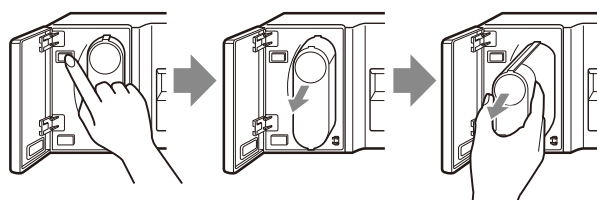
ご注意

- ・ プリンターを初めてお使いの場合は、感熱ヘッドが固定されています。電源スイッチを入れてヘッドを移動させてから、インクリボンカセットを装着してください。
- ・ 使用済みのインクリボンを再度使用しないでください。
- ・ インクリボンを巻き戻して使用しないでください。
- ・ インクリボンは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プリント画が汚れたり、感熱ヘッドの故障の原因になることがあります。

- 1 リボンドアの PULL と書いてある部分を引く。
リボンドアが開きます。



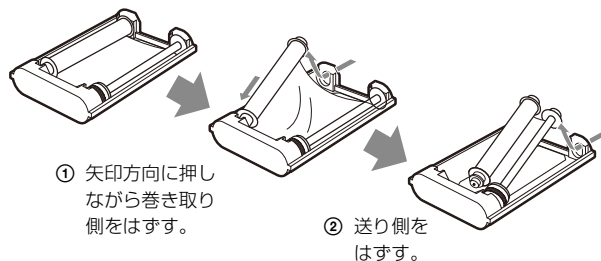
- 2 EJECT（インクリボンカセット取り出し）ボタンを押す。
インクリボンカセットが出てきます。



ご注意

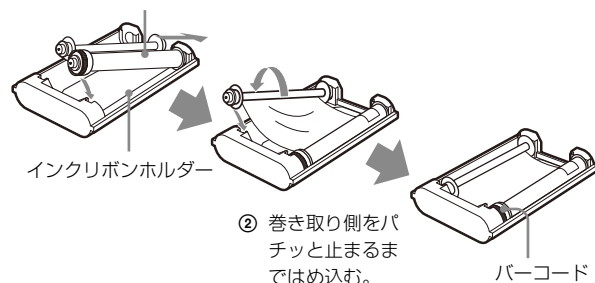
インクリボンカセット装着口の内部に手を入れないでください。中にある感熱ヘッドが熱くなっている場合があります。

- 3 使用済みのインクリボンをインクリボンホルダーから取りはずす。

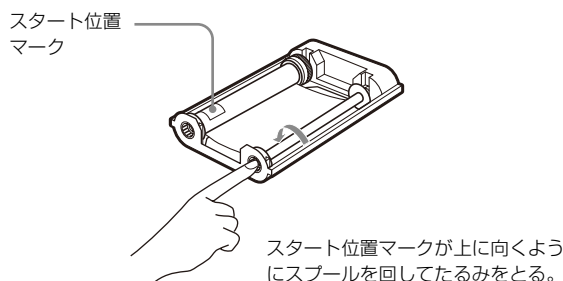


4 新しいインクリボンのシールを取り、インクリボンホルダーに装着する。

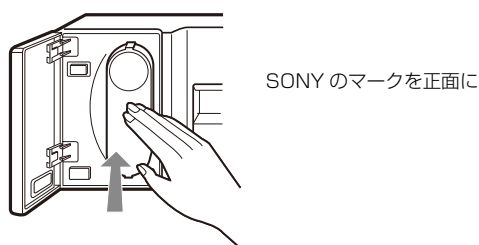
① 矢印方向に押しながらインクリボンの送り側を、はめ込む。



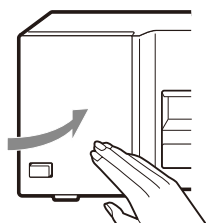
5 リボンのたるみを取る。 たるんだまま差し込むと、挿入時にリボンが傷んでしまうことがあります。



6 インクリボンカセットを入れ、止まるまで押し込む。

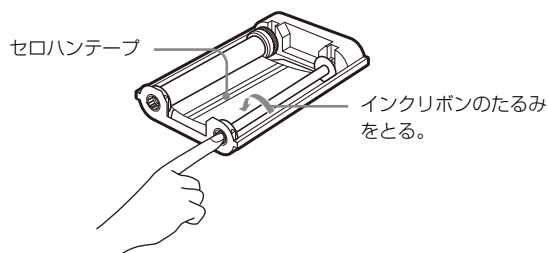


7 リボンドアを閉める。



インクリボンが途中で切れてしまったときは

透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。



インクリボン保存上のご注意

- ・ 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・ 使用途中で長期間保存する場合は、製品の入っていた防湿袋などに入れて保存してください。

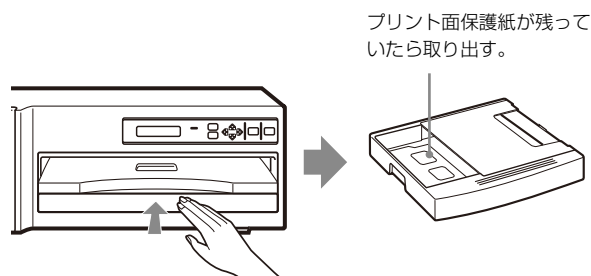
プリント紙を入れる

次の手順でプリント紙を入れます。プリント面には手触れないように注意してください。

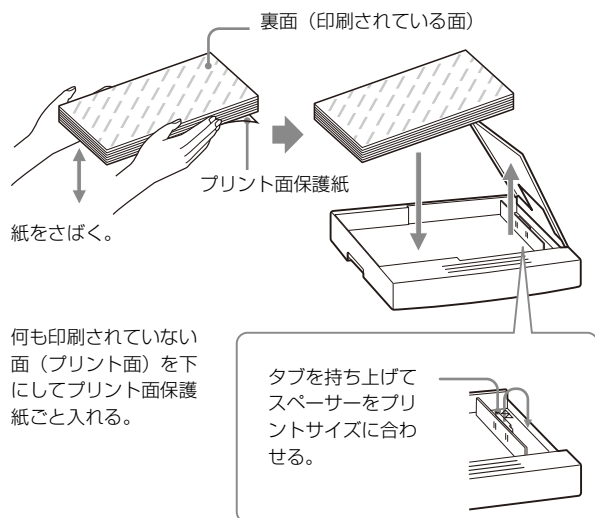
ご注意

プリント紙を入れる場合は、電源を切る必要はありません。電源を切るとメモリーに記憶された画像データが消えてしまいます。

1 給紙トレイの PUSH と書いてある部分を押す。 給紙トレイが取り出せます。



- 2** トレイカバーを持ち上げ、プリント紙を給紙トレイに入れる。

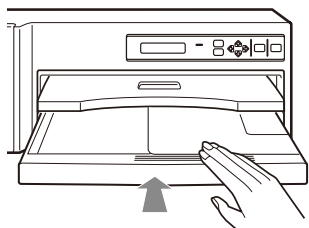


ご注意

1 個のインクリボンでプリントできる枚数とプリント紙の枚数は同じです。通常はインクリボンとプリント紙は同時になくなりますが、どちらかが先になくなった場合もインクリボンとプリント紙を同時に交換してください。プリント紙を給紙トレイに入れる場合は、以下の点に注意してください。

- ・ 給紙トレイに入る紙の量は 72 枚（1 袋分）です。入れすぎると紙づまりの原因になります。また、違った種類のプリント紙を混ぜて入れないでください。
- ・ プリント紙は、インクリボンとセットになっているものを入れてください。インクリボンと異なる組み合わせのプリント紙を入れるとグレーバランスが変化する場合があります。
- ・ プリント紙が反っていたり、給紙トレイからはみ出していると、プリント位置がずれたり、紙づまりの原因になります。
- ・ お使いになるプリント紙のサイズにスペーサーを合わせてからプリント紙を給紙トレイに入れてください。紙づまりや故障の原因になります。

- 3** トレイカバーを閉じて、給紙トレイをカチッと音がするまで差し込む。



ご注意

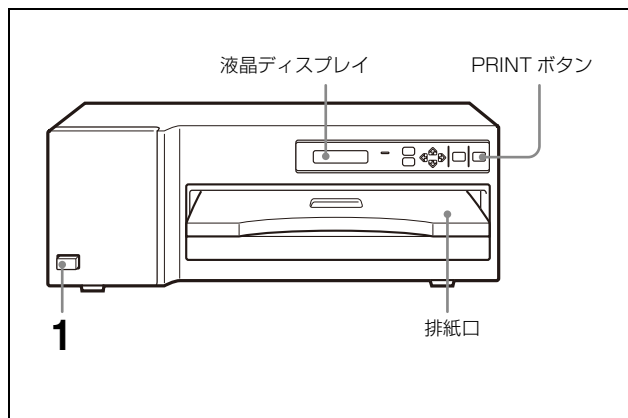
プリント紙を保存するときは

- ・ 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・ 使用途中で本体から取り出して長期保存する場合は、製品の入っていた防湿袋などに入れて保存してください。

プリントする

プリントを始める前に

- ・ プリンターとコンピューターなどの接続は済んでいますか。(10 ページ)
- ・ 給紙トレイ、排紙トレイ、インクリボンカセットは正しく取り付けられていますか。(9、12、13 ページ)
- ・ インクリボンとプリント紙は正しい組み合わせでセットされていますか。(21 ページ)



- 1 コンピューターとプリンターの電源スイッチを入れる。
数秒後、液晶ディスプレイに次のメッセージが表示されます。READY 表示が出ている間は、いつでもプリントできます。

READY A4 QTY: 1

プリント用紙サイズ
プリント枚数

- 2 コンピューターからプリンターに画像データを送り、プリントする。
詳しくは CD-ROM の ReadMe ファイルをご覧ください。
- ① 画像データが送られてくると、次のメッセージが表示されます。

TRANSFER USB A4 QTY: 1

- ② 画像データ転送後プリントが始まり、次のメッセージが表示されます。

PRINTING YELLOW QTY: 1

プリント過程によって色表示が変わる：
プリント開始 → YELLOW
→ MAGENTA → CYAN → LAMI → プリント終了

- ③ 約 85 秒後 (A4 サイズの場合) に排紙口からプリント画が出てきます。プリント時間は画像サイズにより異なります。プリントが終了と、READY 表示に戻ります。

READY A4 QTY: 1

ご注意

- ・ プリント中の用紙が見えますが、途中でプリント紙を無理に引き出したりしないでください。
- ・ 排紙口には、プリント画を 20 枚以上ためないようにしてください。紙づまりの原因になります。

同じ画像を続けてプリントするには

プリンターの PRINT ボタンを押します。記憶されている画像データが再びプリントされます。

プリントできないとき

- ・ エラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されているときは、操作できません。「エラーメッセージ一覧」(23 ページ) をご覧ください。
- ・ 電源スイッチを切ると転送した画像がプリンターのメモリーから消えてしまい、PRINT ボタンを押しても何もプリントされません。もう一度コンピューターよりプリントしてください。

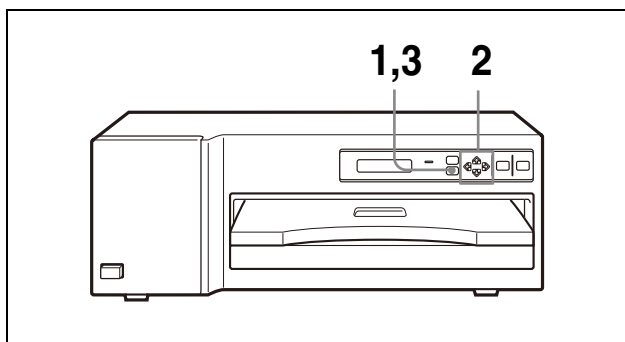
ご注意

プリント画を保存するときは

- ・ 直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。色が退色する場合があります。
- ・ プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑性を含むものに触れさせないでください。
- ・ プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないようにしてください。

プリント枚数を設定する

プリントする前に枚数を設定することができます。
同じプリント画を 20 枚まで続けてプリントすることができます。



- 1 PRINT QTY ボタンを押す。
液晶ディスプレイにプリント枚数（PRINT QTY）設定メニューが表示されます。

PRINT QTY: 1
PUSH[<][>] — 現在の設定枚数を示す。

- 2 ⇐、⇒ ボタンで枚数を指定する。
⇒：枚数が増加します。
⇐：枚数が減少します。
ボタンを押し続けると、増減が速くなります。

PRINT QTY: 12
PUSH[<][>] — 枚数が変わる。

- 3 PRINT QTY ボタンを押してプリント枚数設定メニューを解除する。
液晶ディスプレイが READY 表示に戻り、設定した枚数でプリントできます。

READY A4 QTY: 12 — 新しく設定された枚数

プリント中にプリント紙がなくなったときは

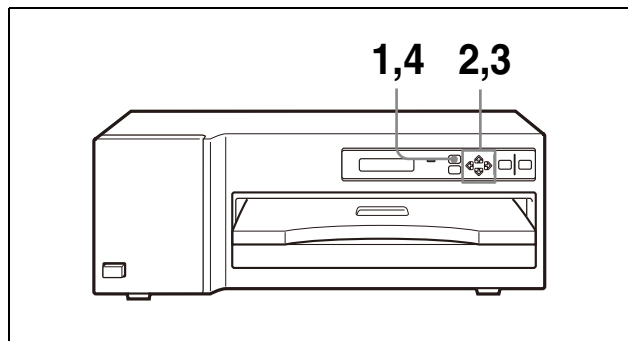
プリント紙を補給して PRINT ボタンを押します。残りの枚数がプリントされます。

ご注意

- ・ 本機の電源スイッチを切ると、プリント枚数は 1 に戻ります。
- ・ プリンターに接続されたコンピューターにインストールされた付属のプリンタードライバーからも、プリント枚数を設定することができます。コンピューターからのプリント実行により、それまでプリンター本体にセットされていた値は、プリンタードライバーで設定した値に更新されます。
- ・ プリント画が排出される度に、液晶ディスプレイの枚数の値は 1 つずつ小さくなり、残りのプリント枚数を表示します。

プリント画を調整する

プリント画の色調、階調、画質、中間調、ラミネーションパターンを調整できます。一度調整すると、次に調整し直すまで同じ色調、階調、画質、中間調、ラミネーションパターンでプリントできます。



- 1 MENU ボタンを押す。
「COLOR ADJUST」が表示されます。
- 2 各ボタンを押してプリント画調整メニューの最初の項目「RED」(赤)を液晶ディスプレイに表示させる。デフォルト値または現在の設定値が、数字で表示されています。

COLOR RED : 0 — デフォルト値 (または現在の設定値)

- 3 調整を行う。
 - ① 各ボタンを押して調整する項目を選びます。
各：次の項目が表示されます。
各：前の項目が表示されます。
 - ② 各、各ボタンを押して調整します。
色調の RED、GREEN、BLUE、階調の DARK、LIGHT、GAMMA は、- 32 から + 32 までの 65 段階で調整できます。数値の 0 が標準です。
各：数値が大きくなります。(+ 32 まで)
各：数値が小さくなります。(- 32 まで)
SHARPNESS は、0 ~ 3 の 4 段階で調整します。
LAMINATION は、Glossy/Texture/Matte の 3 種類の中から選びます。

調整する項目	調整内容
COLOR RED	赤色部分が強調されます。 ^{a)}
GREEN	緑色部分が強調されます。 ^{a)}
BLUE	青色部分が強調されます。 ^{a)}

調整する項目	調整内容
BRIGHTNESS DARK	暗い部分の階調が強調されます。 ^{a)}
LIGHT	明るい部分の階調が強調されます。 ^{a)}
SHARPNESS	画像の輪郭が強調されます。
CONTRAST GAMMA	中間調の色の濃度が濃くなります。 ^{a)}
LAMINATE Glossy	光沢があるプリント画になります。
Texture	絹目のプリント画になります。
Matte	霧がかかったようなプリント画になります。

a) 各を押した場合

例：DARK をレベル 12 に設定する場合
各 ボタンを 12 回押します。

BRIGHTNESS DARK : 12 — 設定値が変わる。

- 4 MENU ボタンを押して調整メニューを解除する。
READY 表示に戻ります。

READY A4 QTY: 1

ご注意

- ・ プリンターに接続されたコンピューターにインストールされた付属のプリンタードライバーからも、プリント画を調整することができます。コンピューターからのプリント実行により、それまでプリンター本体にセットされていた値は、プリンタードライバーで設定した値に更新されます。
- ・ 新しく設定した値は、次のプリント時から有効です。なお、プリント中は調整はできません。

グレイバランスを調整する

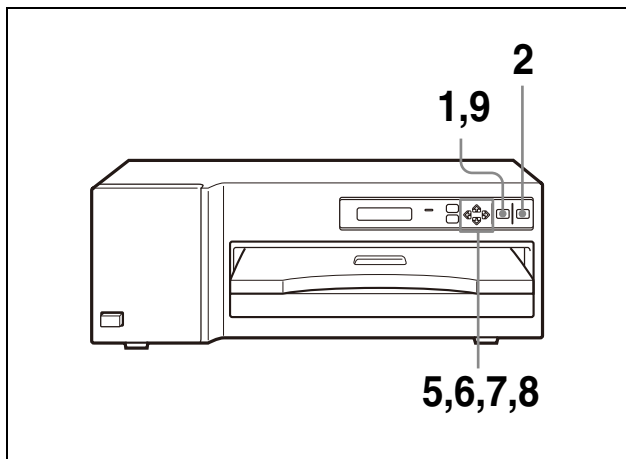
新しいインクリボンとプリント紙は、同じ箱に入っているものをペアで使用します。ペア毎にグレイバランスにばらつきがある場合があります。

新しいインクリボンとプリント紙を取り付けたときに、グレイバランスの調整を行うことをおすすめします。出荷時はグレイバランスは No.0 に設定されています。設定した値は電源を切っても保持されます。

グレイバランスの調整を行う前に

次の操作を行ってください。

- ・ SHARPNESS、LAMINATION 以外のプリント画の調整値をすべて 0 に設定してください（17 ページ）。
コンピューター側のプリンタードライバソフトウェアで色調整を行っている場合も同様にしてください。
- ・ グレイバランスの設定も No. 0 に設定してください。（下記参照）



- 1 CAL ボタンを押す。
「GRAY PATCH PRINT」が表示されます。



- 2 PRINT ボタンを押す。
2 種類のパッチがプリントされます
- 3 パッチ A を見ながら、No.0 ～ No.88 のパターン中、グレイバランスが最適と思われるものを決める。
- 4 再度、パッチ B を見ながら、No.0 ～ No.88 のパターン中、グレイバランスが最適と思われるものを決める。

- 5 ♪、♪ ボタンを押して「GRAY ADJUST [A]」を選ぶ。
グレイバランス調整モードに入ります。



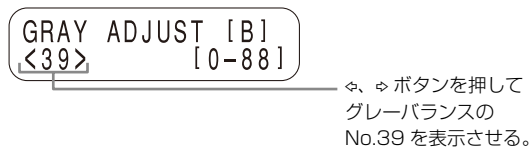
- 6 ♪、♪ ボタンを押して、手順 3 で選んだパターン番号を表示させる。
例：手順 3 で No.18 のパターンがグレイバランス最適と判断した場合



- 7 ♪、♪ ボタンを押して「GRAY ADJUST [B]」を選ぶ。
グレイバランス調整モードに入ります。





- 8 ♪、♪ ボタンを押して、手順 4 で選んだパターン番号を表示させる。
例：手順 4 で No.39 のパターンがグレイバランス最適と判断した場合



- 9 CAL ボタンを押す。
プリンターは、オンライン状態に戻ります。

本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」(2 ページ)、「 警告」(4 ページ)、「 注意」(5 ページ)と併せてご覧ください。

使用上のご注意

長い間で使用にならないときは


- ・ 本体の電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・ プリントパックを使用途中で保存する場合は、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封して、使用してください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、付属品をはずし、ご購入時の梱包材で梱包してください。付属品をつけたまま輸送すると、故障の原因になることがあります。

1 インクリボンカセットと給紙トレイを取りはずす。

2 内部のサーマルヘッドを固定する。

- ① プリンターの電源スイッチを入れる。
- ② CAL ボタン、 ボタンを同時に押す。
- ③ 電源スイッチを切る。

ご注意

サーマルヘッドを固定する時はインクリボンカセットの装着口に手や指を入れないでください。
サーマルヘッドに手を挟まれて、けがの原因となる場合があります。

サーマルヘッドの固定をはずすには

再度電源をいれます。サーマルヘッドは移動し、インクリボンカセットが取り付けられるようになります。

結露について

- ・ 湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。
- ・ 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントパックを持ち込むと、インクリボンやプリント紙に水滴がつくことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントパックを使用すると、プリント画像にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。

お手入れ

ご注意

お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。

キャビネットが汚れたら

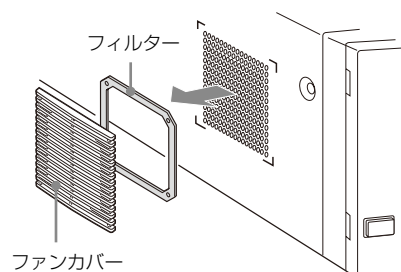
キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。このあと乾いた布でからぶきしてください。

シンナーやベンジン、無水アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

フィルターを掃除するには

本機の左側面と後面には通風孔があります。液晶ディスプレイに CLEAN FAN FILTER というメッセージが現れたら、左側面のフィルターを掃除してください。

1 ファンカバーをはずしフィルターを取り出す。

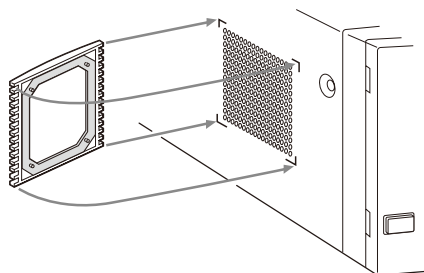


2 ほこりを掃除機などで吸い取る。

ご注意

- ・ フィルターを掃除機に吸い込まないようにしてください。
- ・ フィルターの網を強くこすらないでください。

- 3** フィルターを元に戻し、ファンカバーを本体に取り付ける。



サーマルヘッドのクリーニングについて

次のような場合に、サーマルヘッドクリーニングキット（付属）を使用してサーマルヘッドのクリーニングをしてください。

- ・ プリント画に白い長手方向の筋が発生したとき
- ・ プリント画に引っかき傷が発生したとき

白いチップと黒いチップの使い分け

白いチップは、スポンジでヘッドの塵を拭き取ります。
黒いチップは、研磨剤付のスポンジでヘッドの塵を削り取ります。

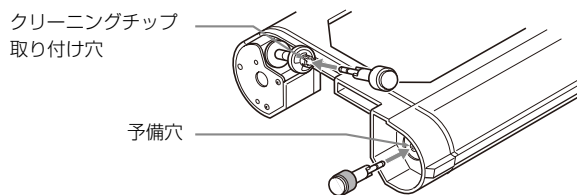
次の場合は白いチップを使ってください

- ・ プリント画にヘッドの塵による白い線が発生したとき
- ・ 予防的な、日常のクリーニング

次の場合は黒いチップを使ってください

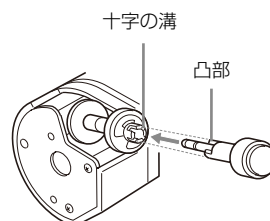
- ・ プリント画の周囲の余白には引っかき傷は出ていないが、プリント画には引っかき傷が発生したとき
- ・ 白いチップを使ったクリーニングで、効果が無かったとき
- ・ 定期的なクリーニング
サーマルヘッドをきれいな状態に保つために、**月に1度（またはプリント500枚ごと）**、サーマルヘッドをクリーニングすることをお奨めいたします。

白いチップはクリーニングチップ取り付け穴へ、黒いチップは予備穴へ取り付けておくくと便利です。



チップの取り付け

- 1** クリーニングチップの取り付け穴の十字状の溝にチップの凸部を合わせる。

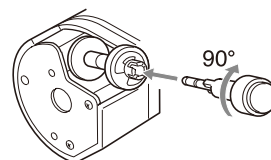


- 2** カチッと音がするまで、チップを取り付け穴の奥へしっかりと押し込む。

チップの回転と効果

チップのクリーニング効果は、白いチップはクリーニング30回程度、黒いチップの場合は1回のクリーニングで、使用効果が薄れてきます。この場合には、次のようにチップを回転させると、新しい部分でクリーニングできるようになります。

チップを一旦取り付け穴から引き抜き、90°回転させてから、再度取り付けます。



一つのチップで4回新しい面を使用することができます。4面とも使用した場合は、新しいチップと交換してください。

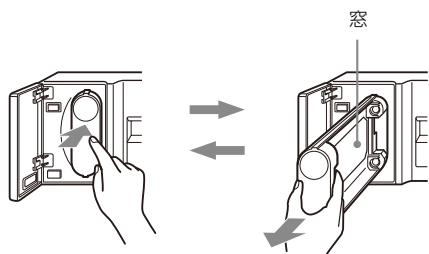
交換用チップセットの品番 A-8279-104（有料）

サーマルヘッドのクリーニング

次の手順でクリーニングしてください。

- 1** プリンターからインクリボンホルダーを取り出す。

- 2 インクリボンホルダーを入れる要領で、チップを付けたクリーニングキットをプリンターへ装着する。
- 3 クリーニングキットを、奥まで押し込み、次に、クリーニングキットの窓が全部見えるまで、クリーニングキットを引き出す。**この動作を約3回繰り返す。**



サーマルヘッドのクリーニングは終了しました。

- 4 プリンターからクリーニングキットを取り出し、インクリボンホルダーを取り付ける。

ご注意

- ・ チップに水や無水アルコールなどを付けないでください。これらのものをつけたチップでクリーニングすると、サーマルヘッドの性能を損なうことがあります。
- ・ 黒いチップでクリーニングする場合は、クリーニングホルダーの抜き差しをやりすぎると、ヘッドの寿命を短くする場合がありますのでご注意ください。
- ・ クリーニングチップを口に入れないでください。また、お子様の手の届かない所に保管してください。

使えるインクリボンとプリント紙

セルフラミネーティングプリントパック UPC-740

ラミネーション用のインクリボン1巻と A4 サイズのプリント紙が 72 枚入っています。

セルフラミネーティングプリントパック UPC-747

ラミネーション用のインクリボン1巻と A4 サイズより一回り大きいプリント紙が 72 枚入っています。

この用紙を使用すると、A4 の大きさに画像がプリントされます。

ご注意

- ・ **必ず専用のプリント紙とインクリボンをお使いください。** 専用以外のものを使用すると、きれいなプリントができないばかりでなく、故障の原因となる場合があります。
- ・ インクリボンとプリント紙は、1 回使い切りタイプです。ご使用後は、新しいものに交換してください。

主な仕様

電源	AC100 V、50/60 Hz
入力電流	3 A
動作温度	5℃～35℃
最大外形寸法	約 493.8 × 176 × 468.8 mm（幅／高さ／奥行き）最大突起部含まず。
質量	約 18 kg
プリント方式	昇華熱転写型、YMC 3色重ね印画
感熱ヘッド	11.8 ドット /mm、2560 ドット（300 dpi）
プリント階調	YMC 各色 8 ビット（256 階調）処理（イエロー、マゼンタ、シアン）
最大プリントサイズ	A4 サイズ：271.6 × 203.2 mm A4+ サイズ：297.0 × 215.9 mm
プリント画素数	A4 サイズ：3208 ドット × 2400 ドット A4+ サイズ：3508 ドット × 2560 ドット （ただし A4+ サイズの場合、上下各 5 ドットはプリントされません）
プリント時間	約 85 秒（A4 サイズ） 約 90 秒（A4+ サイズ）
インターフェース	Hi-Speed USB（USB 2.0 準拠）
付属品	インクリボンホルダー（1） 給紙トレイ（1） 排紙トレイ（1） ファンカバー（1） ボトムカバー（1） フェライトコア（1） サーマルヘッドクリーニングキット（1） 電源コード（1） 3 極→2 極変換プラグ（1） 取扱説明書（1） CD-ROM（1） ソフトウェア使用契約書（1）
別売り品	インクリボン／プリント紙 セルフラミネーティングプリント パック UPC-740 セルフラミネーティングプリント パック UPC-747

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

症状	原因／処置
液晶ディスプレイに何も現れない。	POWER スイッチが入っていません。 →POWER スイッチを入れます。(7 ページ)
	電源の接続が正しくされていません。 →接続を確認します。(10 ページ)
プリントできない。	画面にエラーメッセージが出ています。 →「エラーメッセージ一覧」に従って処理します。(23 ページ)
	インクリボンカセットとプリント紙が入っていません。 →インクリボンカセットとプリント紙を入れてください。(12、13 ページ)

エラーメッセージ一覧

異常が起これと、本機前面の ALARM ランプが点灯し、液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージにしたがって次に示す処置をしてください。

メッセージ	意味／対策
END OF RIBBON	インクリボンがなくなりました。 →新しいインクリボンと交換してください。(12 ページ)
HEAD IN COOLING	感熱ヘッドの温度が上昇しました。 →メッセージが消えるまでお待ちください。連続プリント中は、ヘッドが冷えメッセージが消えてから、プリントが再開されます。
HEAD IN HEATING	感熱ヘッドを予熱中です。 →メッセージが消えるまでお待ちください。ヘッドが予熱されメッセージが消えてから、プリントが開始されます。
NO RIBBON	インクリボンカセットが正しく本体に差し込まれていません。 →インクリボンカセットをインクリボンホルダーに装着し、差し込んでください。(12 ページ)
NO IMAGE DATA	プリンターに画像データが記憶されていません。 →コンピューターから画像データを転送してください。(15 ページ)
NO PAPER	プリント紙がなくなりました。 →プリント紙を入れてください。(13 ページ)

メッセージ	意味／対策
PLEASE WAIT	このメッセージはプリントの途中で電源を切ったり、またはプリント紙とインクリボンの組み合わせが間違っているためにプリントが自動的に中断された場合に現れます。プリント紙が途中に残っています。→プリント紙が排出されるまでお待ちください。
REMOVE PAPER AND PRESS [↵]	紙づまりが起きました。 →つまった紙を取り除き [↵] ボタンを押してください。(24 ページ)
RIBBON ERROR	インクリボンに異常が起きました。 →インクリボンが切れていないか、また、インクリボンとトレイが正しく装着されているか確認してください。(9、12、13 ページ)
MECHA TROUBLE	プリンターに異常が起きました。 →電源を切り、その後再度電源スイッチを入れると操作できるようになります。この方法で対処してもメッセージが消えず、最度本メッセージが表示された場合は、電源を切り、お近くのソニーサービス窓口にご連絡ください。

つまった紙を取り除く

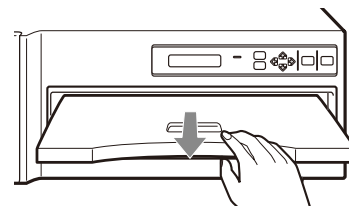
PRINT ボタンを押した後、プリントが始まる前またはプリント中に紙づまりが起きると、「REMOVE PAPER AND PRESS [↵]」というエラーメッセージが現われ、プリントは止まります。

次の手順で、排紙口、給紙トレイ内、給紙トレイの下 の 3 箇所を確認し、つまっている紙を取り除きます。

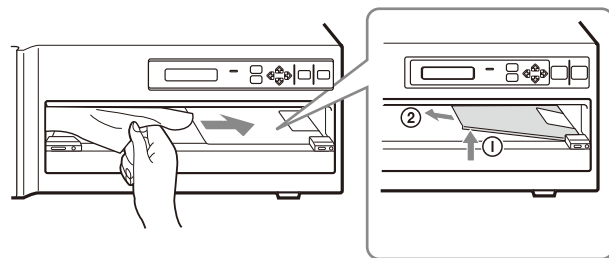
ご注意

次の操作中、プリンター内部の部品にさわるときは、内部部品でけがをしないようご注意ください。

- 1 排紙トレイを取り出す。
プリント済みのプリント紙が排紙トレイの上にあるときは、排紙トレイを取り出す前にプリント済みプリント紙を取り出してください。



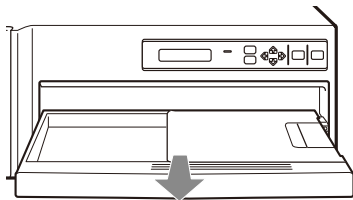
- 2 排紙口にプリント紙が見えているときは、まっすぐ右方向にゆっくり取り出す。
給紙トレイ内に給紙途中で止まっている紙があれば、右方向にずらして取り除きます。
給紙トレイカバーがじゃまになるときは、カバーをはずします。



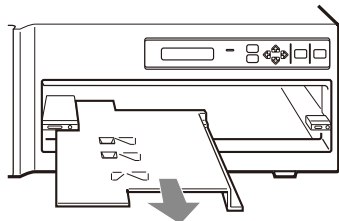
トレイカバーをはずすには、トレイカバーを①のように持ち上げてから、②の方向にひっぱる。

- 3 給紙トレイの PUSH の部分を押す。

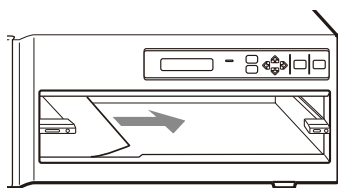
給紙トレイが取り出せます。



4 ボトムカバーをはずす。

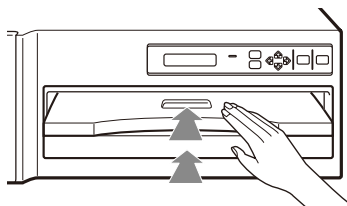


5 底の部分にプリント紙がある場合は、取り除く。



6 プリント紙を正しくセットする。 手順2と5で取り除いたプリント紙は使用しないでください。

7 ボトムカバーを取り付け、排紙トレイ、給紙トレイを差し込む。



8 ❶ ボタンを押す。 エラーメッセージが消え、READY 表示に戻ります。

液晶ディスプレイの表示



索引

あ

アフターサービス	23
安全のために	2

い

インクリボン	12, 21
インクリボンカセット	12
取り出しボタン	12
取り付け	12
インクリボンホルダー	12

え

エラーメッセージ	23
----------------	----

お

お手入れ	19
主な仕様	22
主な使用例	7

か

各部の名称と働き	7
裏面	8
前面	7
紙づまり	24

き

給紙トレイ	9, 13
-------------	-------

く

組み立て	9
クリーニング	
キャビネット	19
フィルター	19
グレーバランス	18

け

結露	19
----------	----

こ

コンピューターと接続	10
------------------	----

し

仕様	
電源	22
プリントサイズ	22
使用上のご注意	19
警告	4
注意	5

せ

性能の保持	
キャビネットが汚れたら	19
結露	19
使用上の注意	19

接続

ご注意	10
電源コード	10
USB ケーブルを固定する	11
USB 端子に接続	10

つ

通風孔	19
使えるインクリボンと プリント紙	21
つまった紙を取り除く	24

て

電源	22
----------	----

と

特長	7
----------	---

ふ

ファンカバー	9, 19
フィルター	9, 19
フェライトコア	10
付属品を確認する	9
プリンタードライバー インストール	10
プリント画の保存上のご注意	15
プリント画を調整する	17
BRIGHTNESS	17
COLOR	17
CONTRAST	17
LAMINATE	17
SHARPNESS	17
プリント紙	21
入れる	13
プリント面	14
プリント面保護紙	14
保存上のご注意	14
プリントする	15
同じ画像を続けて プリントする	15
プリントできないとき	15
プリント枚数を設定する	16
プリントパック	21
プリント枚数設定メニュー	16
プリント面	14
プリント面保護紙	14

ほ

保証期間	23
保証書	23
ボトムカバー	9, 25

ゆ

輸送時の注意	19
--------------	----

り

リボンドア	12
-------------	----

A

ALARM ランプ	23
-----------------	----

B

BLUE	17
BRIGHTNESS	17

C

CD-ROM	10
COLOR	17
CONTRAST	17

D

DARK	17
------------	----

E

EJECT ボタン	12
END OF RIBBON	23

G

GAMMA	17
Glossy	17
GREEN	17

H

HEAD IN COOLING	23
HEAD IN HEATING	23

L

LAMINATE	17
LIGHT	17

M

Matte	17
MECHA TROUBLE	24
MENU ボタン	17

N

NO IMAGE DATA	23
NO PAPER	23
NO RIBBON	23

P

PLEASE WAIT	24
PRINT QTY ボタン	16
PRINT ボタン	15, 16

R

RED	17
REMOVE PAPER AND PRESS [⇨]	24
RIBBON ERROR.....	24

S

SHARPNESS	17
-----------------	----

T

Texture.....	17
--------------	----





この説明書は 100% 古紙再生紙を使用しています。

お問い合わせは

「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

Printed in Japan



2632686040